

交流会事前説明会

初めての試みのため、交流会を申し込んでいただく前に、事前の説明会を以下の要領で開催します。ぜひ参加してみてください。

第一回

日時 2019-8-20 火曜日 13時から

場所 3F600

第一回に参加できなかった学生は以下の予備開催に参加してください。

予備開催

日時 2019-8-27 火曜日 13時から

場所 総合研究棟 B 棟 310 会議室

企業研究者との双方向インタビュー

(院生・企業研究者交流会の案内)

電子・物理工学専攻、物質・分子工学専攻、ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻
筑波大学大学院数理物質科学研究科

(令和元年 10 月 24 日 13 時～17:00、於、筑波大学東京キャンパス文京校舎)

趣旨

企業研究者との学生の 2 ウェイのインタビューが計画されました。そこでは、学生はポスター上で、研究結果、および研究背景、実験の技術および分析方法(それらは研究プロセスで得られた)のような様々な技術的な能力を示すことができます。ポスターの前で、学生および企業研究者が意見交換することができます。学生にとっては、研究テーマの産業意味を理解することにもなるでしょう。

結果として、学生は研究力を促進し、革新とプレゼンテーションの能力を引き上げて、自らのその後の研究に役立てることができるようになります。そして、学生は、さらにそれらを就職後にも役立つ能力を高めることができます。企業にとっても雇用の前に学生を評価し、有望な学生あるいはその研究所の経済的支援の機会を見つけることができます。ポスター発表を有効なものにすることによって、指導教員は、産業見解から研究についてのアドバイスを得て、同時に研究のアピールポイントを拡張することになるでしょう。学生とその研究室についての革新的な考えを刺激することになることが期待されます。就職に対しても、学生と企業は互いを知る良い機会になるでしょう。そして、産業と筑波大学の共同研究等をも発展させることになるでしょう。

このような機会は、筑波大学(あるいは教師および学生)および企業の両方にとって有効で、高い相互協力をもつ win-win な関係を構築することに繋がります。

プログラム

第一部 (13:00-14:00)

- 1.1 博士 OB あるいは企業からの博士課程学生へのメッセージ
- 1.2 教員からの当世博士課程学生気質と博士課程教育

第二部 (14:00-16:00)

- 2.1 学生の 1 分間スピーチ
- 2.2 ポスターセッション I
- 2.3 ポスターセッション II

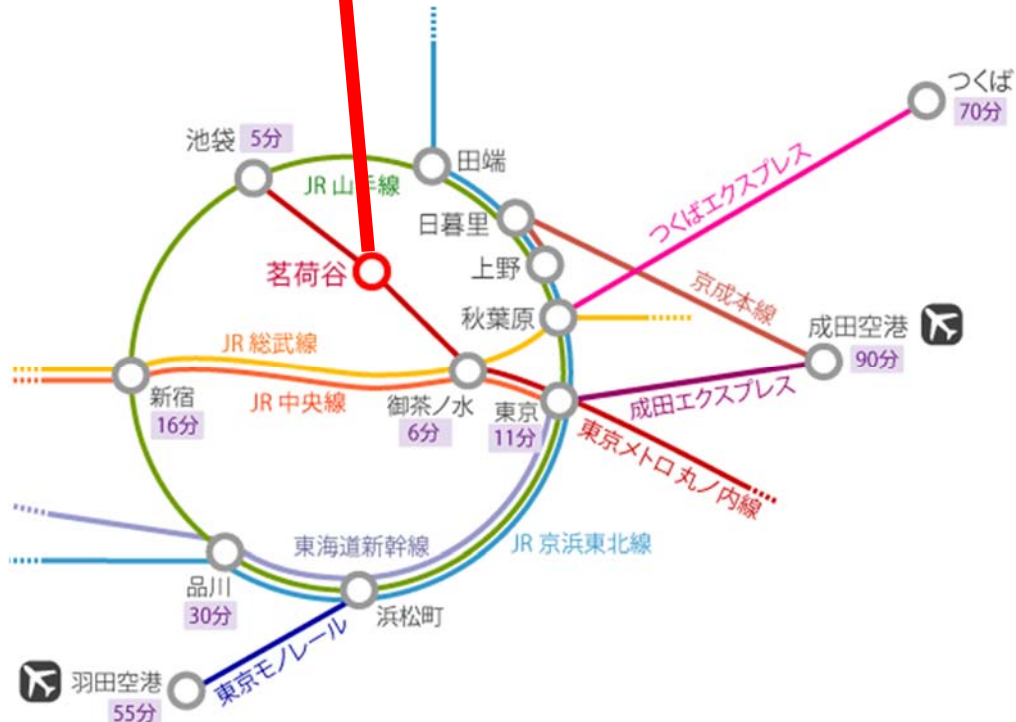
第三部 (16:00-17:00)

- 3.1 名刺交換/グループ討議/個別対談

会場への地図



丸ノ内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車「出口1」徒歩5分程度



参加学生には、旅費と手当が支払われます。また、筑波大学ロゴ入り名刺を作成します。

企業研究者との双方向インタビュー

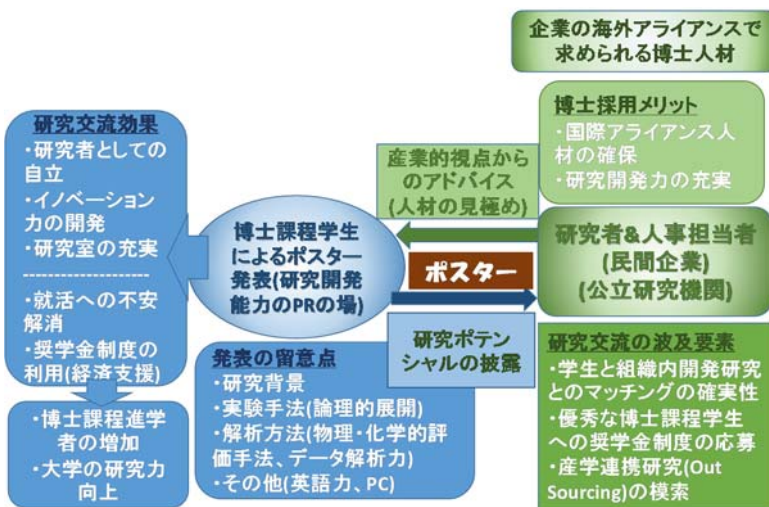
筑波大学大学院数理物質科学研究科
院生・企業研究者交流会の案内

(令和元年 10月24日 13時～17時、筑波大学東京キャンパス文京校舎)

種々の業種で海外とのアライアンスが進んでいますが、博士学位取得者の活躍が期待されています。博士課程学生と企業との相互理解は、良好なマッチングを得るために、非常に重要です。そこで、学生が研究遂行の過程でマスターした様々な能力(例えばテーマ・セッティング、プログラミング方法、実験的方法、評価/分析法、発信力など)を示す場所を企画しました。このインタビューが就職活動および研究共同作業への好機に繋がると期待します。

近年、企業は著しく変わりつつあります。しかしながら、正確に学生が会社のことを知る機会はほとんどありません。他方、学生はテーマの背景、および使用された評価および分析の原理を理解することが要求されています。この交流会では、自分の目で実験結果を正確に観察し、隠れた現象を一人で想像したものを、明確に説明してください。また、研究能力も示してください。産業の視点から、学生の想像したものおよび獲得した能力に対する意見が示され、企業研究者はその学生の能力を見い出すことができるでしょう。また、学生は、自分の研究の産業界での有効性を知ることができるでしょう。学生は自らの能力をアピールすることができ、就活として企業とのマッチングを見出すことができるでしょう。

企業からの様々なサポートにつながるかもしれません。



詳細問い合わせ先: 〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学 数理物質研科学究科 TIA 推進室

Tel 029-853-4028

交流会での準備(自身の能力を理解してもらうため)

本交流会は、主に博士課程学生と企業研究者との交流により、学生自身のポテンシャルを理解してもらい、就職機会を拡充することを目的としています。

ポスター発表で研究内容については、学会発表と異なり、半分程度に留め、自らの研究者としてのポテンシャルを披露する場と考えください。

○ポスター

学会等での既発表内容の一部

○ポテンシャル---以下のすべてに対応する必要はありません。一部でも、自身のものとし、自身をアピールするものを挙げてください。

1. 調査力

研究テーマ設定に当たり、どのようなことを調査し、どのように動機付けしたか。

論文の背景を自身の言葉で執筆できる程度。

調査---学会、論文(よく読んだ国際論文誌など)、特許、インターネット(利用方法の特徴)、公的白書など。

2. 研究遂行力

2.1 実験では、どのような実験装置を使って、工夫をしたことは何か。

真空装置、熱処理装置、パターンニング装置、薄膜形成装置、洗浄装置等
微細加工(フォトリソ、EBリソ、ウェットエッチング、ドライエッチング)。

測定プログラム(BASIC、FORTRAN、C言語類、その他)

2.2 実験は、どのような原理に基づいたか。

2.3 理論では、どのような原理・理論式を用いたか。

2.4 計算方法には、どのようなプログラムを用いたか。

大型計算機、自前の計算機

FORTRAN、C言語類

3. 評価・解析

3.1 評価技術

物理評価---SEM/TEM/FIB、エリプソメトリ、SPM(AFM/CAFM等)、
光学顕微鏡、FTIR、ESR、XPS etc.

化学解析---NMR等

電気的特性(GPIB:BASIC/FORTRAN等)

---抵抗、電流、電圧、容量、キャリア濃度等)、

※簡単な原理説明ができ、評価実績があるもの。

3.2 シミュレーション

使用ソフトなど---使用実績があるもの。

4. 情報発信力

4.1 英語論文

4.2 国際学会発表 英会話(TOEIC等)、WORD/EXCEL/Graphなど。